

平成25年度

# 全国学力・学習状況調査の結果概要をお知らせします

平成25年4月24日に「全国学力・学習状況調査」が行われました。

## 〔調査内容〕

- 小学校6年生、中学校3年生の全児童・生徒が対象
- 教科に関する調査は、国語、算数・数学の2教科
- 国語、算数・数学に関する調査は「知識」に関する問題A、「活用」（知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力など）に関する問題Bを出題
- 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

この調査は、教科に関する調査と質問紙調査とで構成されています。児童・生徒の学力の全てを見ることのできるものではありませんが、町内の各学校では、この結果を一つの手がかりとして分析し、

成果と課題を明らかにして、今後の教育活動に生かしていくようとしています。

また、大山町教育委員会は、学校の取組の進捗状況を把握しつつ、教科に関する調査と質問紙調査を総合的に分析し、検討を行いながら、より質の高い教育の実現に向けて取り組んでいきます。

## 〔活用に関する力〕

### 改善の方向へ！

○小学校6年生について、大山町の平均正答率は、国語A・B、算数A・Bともに、県よりやや低くなっています。また、国語Aでは、全国と等しく、算数Aでは全国よりやや高くなっています。

○中学校3年生について、大山町の平均正答率は、国語A・B、数学Bが県よりやや高く、良好な結果となっています。数学Aでは、県よりやや低く、全国よりやや高くなっています。

小学校6年生	平均正答率 (%)			
	国語A	国語B	算数A	算数B
大山町	62.7	49.1	77.4	57.2
鳥取県	63.9	50.4	78.1	60.2
全国	62.7	49.4	77.2	58.4
全国との差	0.0	-0.3	0.2	-1.2

中学校3年生	平均正答率 (%)			
	国語A	国語B	数学A	数学B
大山町	79.7	71.8	64.6	44.2
鳥取県	77.6	68.6	64.8	43.0
全国	76.4	67.4	63.7	41.5
全国との差	3.3	4.4	0.9	2.7

○国語、算数・数学の両教科において、前年度まで大山町の小・中学校では、問題Bの方がAに比べて平均正答率が低く、活用力の向上が課題となっていました。

(表1)

質問事項	小学校6年生				中学校3年生			
	肯定的な回答割合				肯定的な回答割合			
	国	県	大山町	全国との差	国	県	大山町	全国との差
普段の授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていると思いますか	81.5	85.8	87.1	5.6	78.2	84.8	84.5	6.3

しかし、今回の調査では、中学校において、大きく改善が見られました。

(表1)からも分かるように、学校の授業の中で、子どもたち一人一人が、自ら考え発表し合うことにより、友だちの考えに触れる機会を増やし、さらに自分の考えを深める学習を大切にしている成果であると考えられます。

## 〔学び合い、ともに高め合う〕

### 児童・生徒を目指して

大山町では、小・中学校の連携を進めながら、各学校の授業改善に力を入れています。県の指定事業である「少人数を活かす学びと指導の創造事業」（名和小・中学校）、「市町村との協働による学力向上推進事業」（大山西小・大山小・大山中学校、中山小・中学校）を受け、9年間を見通した児童・生徒の育ちと学びについて共通した取り組みを進めています。